

イベント紹介

2007年3月

吉野作造講座

二〇〇六年八月二十六日～十二月十六日

本年も当館、田中昌亮館長による吉野作造講座を開催しました。六回にわたる講座では「日本国憲法公布六〇年・民本主義を唱えて九〇年・中央公論一二〇年」をテーマにお話しました。一九一六年（大正五）吉野は『中央公論』誌上に「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの

途を論ず」を発表し、民本主義を唱えました。このことは論争を巻き起こし、大正デモクラシーを活性化させました。それから九〇年、吉野の思想はどのよう

猪木武徳氏講演会

二〇〇七年一月二十七日

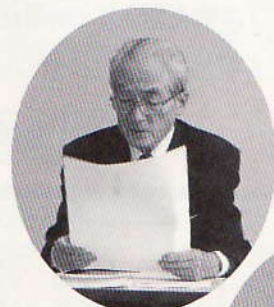
国際日本文化研究センター教授の猪木武徳氏を講師にお招きし、講演会を開催しました。猪木氏は経済思想・労働経済学の第一人者で、二〇〇二年には著書『自由と秩序―競争社会の二つの顔―』で読売・吉野作造賞を受賞されました。現在、その選考委員をされています。二度目の講演となった今回は、吉野作造にちなみ「戦後日本のデモクラシー―その試練と課題―」というテーマでお話して下さいました。講演では、民主制社会

の特質をふまえながら、多数決原理の問題点を鋭く指摘し、会場からは頷く姿も見られました。



▲猪木武徳氏による講演の様子

後藤一蔵氏を講師に迎え「大正期における青年組織の諸相―大正デモクラシーとのかかわりにふれながら―」というテーマでお話いただきました。受講された方々は大変熱心にメモを取りながら聞き入っていました。



▲田中館長による講座の様子



▲講師の後藤一蔵氏講話の様子

読売・吉野作造賞受賞者講演会

長谷川毅氏講演会

二〇〇七年二月十四日

二〇〇六年度読売・吉野作造賞受賞者講演会を開催しました。本年の受賞者はカリフォルニア大学サンタバーバラ校歴史学部



▲講演中の長谷川毅氏

教授、長谷川毅氏です。受賞作品は『暗闘―スターリン、トルーマンと日本降伏』で、同作品で司馬遼太郎賞も受賞しました。講演のテーマは「太平洋戦争における日本降伏と国体の定義」で、歴史学者の観点から興味深いお話をしてくださいました。会場を訪れた方々は熱心に聞き入っている様子で、講演の後はたくさん質疑の音があがりました。講演に先立ち長谷川氏にサインしていただいた受賞作品を限定十冊販売しました。書店では手に入らないとあって大変好評でした。